(19)日本国特許庁(JP)　(12)登録実用新案公報(U)　(11)実用新案登録番号
実用新案登録第3115741号
(U3115741)
(45)発行日　平成17年11月17日(2005.11.17)　(24)登録日　平成17年10月5日(2005.10.5)

(51)Int.Cl.[7]　F I
G02C 11/02　G02C 11/02

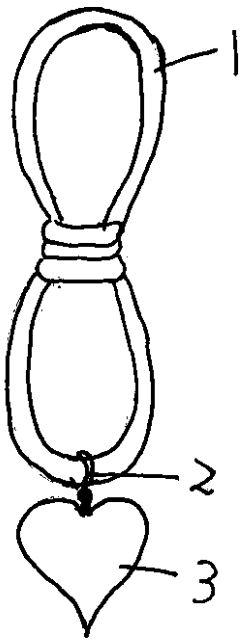
評価書の請求 未請求　請求項の数 1　書面　(全 3 頁)

(21)出願番号　実願2005-6254(U2005-6254)
(22)出願日　平成17年7月7日(2005.7.7)

(73)実用新案権者　505293299
塩野　厚子
東京都江東区平野１丁目８番６号
(72)考案者　塩野　厚子
東京都江東区平野１丁目８番６号

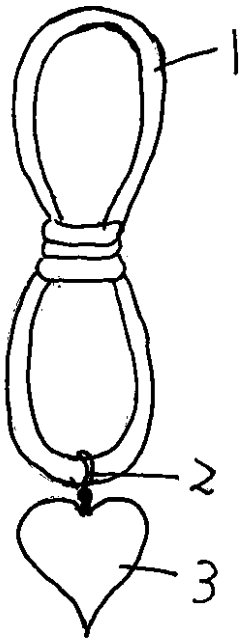
(54)【考案の名称】後付け眼鏡アクセサリー

(57)【要約】　(修正有)
【課題】眼鏡のファッション性を高める着脱容易な後付け眼鏡アクセサリーの提供。
【解決手段】眼鏡つり下げ用ゴム１に丸かん２で装飾品３を結合させる事により、つる本体を傷つけることなく、なおかつ太さも調節可能となり、付けはずしが簡単にできる。
【選択図】図１



【実用新案登録請求の範囲】
【請求項１】
本考案は、眼鏡つり下げ用ゴム部品に装飾品を取り付ける事により、太さ調節も可能で着脱自在としたところを特徴とする後付け眼鏡アクセサリー
【考案の詳細な説明】
【技術分野】
【０００１】
本考案は、眼鏡つり下げ用ゴムに装飾品を取り付けた後付け眼鏡アクセサリーである。
【背景技術】
【０００２】
眼鏡のつる部分は容易に着脱可能な後付けアクセサリーがなく
ファッション性が低かった。
【考案の開示】
【考案が解決しようとする課題】
【０００３】
眼鏡のつる本体の装飾では、取り外しができないためＴＰＯに合わせ
手軽に眼鏡のファッション性を高めようとするものである。
【課題を解決するための手段】
【０００４】
眼鏡のつり下げ用ゴムに様々な装飾品を取り付ける事により、太さ調節可能で容易に着脱できる後付け眼鏡アクセサリーができ、メガネのファッション性が高まる。
【考案の効果】
【０００５】
個性を出しにくかったメガネのつるも上述のアクセサリーを装着することによって
ファッションとしての価値が高まる。
【考案を実施するための最良の形態】
【０００６】
装飾品の取り付け部を眼鏡つり下げ用ゴムを使用し、つるの部の傷を防止し
太さ調節を可能にし着脱自在で後付け可能となる。
【実施例】
【０００７】
以下、添付図面に従って実施例を説明する。
１の眼鏡つり下げ用ゴムと３の装飾品を２の丸かんで結合させる。
【図面の簡単な説明】
【０００８】
【図１】本考案の後付け眼鏡アクセサリーの実施例を示す図である。
【図２】本考案の後付けメガネアクセサリーのメガネ本体装着例を示す図である。
【符号の説明】
【０００９】
１．メガネつり下げ用ゴム部品
２．丸かん
３．装飾品

【図１】



【図２】

